

## 今日のトピック 米国の金融政策(2015年1月) 利上げ開始まで「忍耐強く」を維持

### ポイント1 低金利政策、時間軸とも変更なし

#### 国債などへの再投資も継続

- FRBは1月27日～28日のFOMCで、現行の低金利政策の維持を決定しました。また、満期を迎えた国債などへの再投資により、FRBの資産規模を維持する方針も据え置きました。
- 前回12月の声明文で示された、利上げまで「忍耐強く」なれるというフォワードガイダンス(時間軸政策)についても維持されました。前回残された「相当な期間」低金利を維持するとの文言は、今回削除されました。



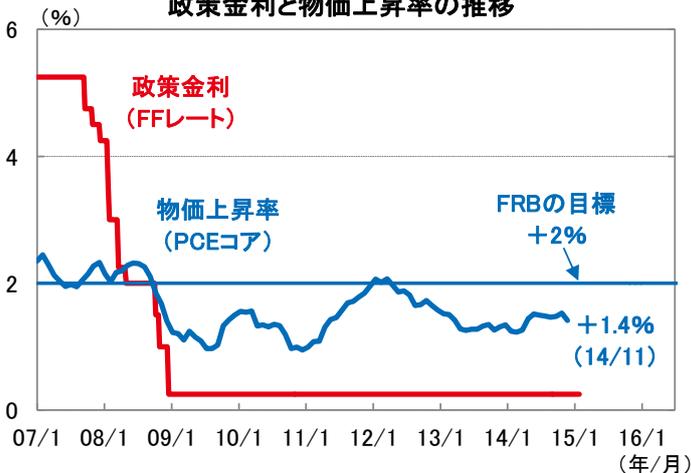
(注) データは2007年1月3日～2015年1月21日の週次。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

### ポイント2 物価見通しも変更なし

#### 景気の現状判断は上方修正

- 今回の声明文では、景気の現状判断が「緩やかなペース」から「しっかりとしたペース」に上方修正されました。原油安による家計の購買力向上にも言及されました。ただし、今後の景気見通しは、緩和的な金融政策のもとで「緩やかに拡大する」という従来の見通しを据え置いています。
- 物価については、短期的には上昇率が低下するものの「雇用がさらに改善し、原油安などの影響が薄れるにつれ中期的には+2%に向けて上昇する」との見通しを維持しています。
- また、低金利政策の維持を判断する諸条件として、従来の雇用、物価、金融環境に「国際情勢」が追加されました。政策変更の判断にあたって、海外の景気や金融政策に関連しドル高が進行するリスクや地政学的リスクにも目配せをしていくものと見られます。

#### 政策金利と物価上昇率の推移



(注) FFレートは2007年1月5日～2015年1月28日の週次。2008年12月以降のFFレートはターゲットレンジ0.00%～0.25%の上限を表示。物価上昇率は2007年1月～2014年11月の月次。PCEコア物価指数の前年同月比。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

### 今後の展開 2015年後半の利上げ開始にむけ、フォワードガイダンスの変化に注目

- 雇用は着実に改善傾向にある一方、物価上昇は緩慢なままで、FRBの目標+2%への到達が後ずれしそうです。物価の状況次第では、利上げ開始が遅れることも予想されます。
- 2004年の利上げ開始の前には、フォワードガイダンスが、「忍耐強く」から「慎重に」に変わりました。今回も同様の文言が使用されており、「慎重に」に変更されるタイミングに注目が集まります。

ここも  
チェック! 2015年01月16日 米国の債券市場(2015年1月)  
2015年01月13日 米国の雇用統計(2014年12月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。